



## 平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月1日

上場会社名 イーピーエス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4282 URL <http://www.eps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7797

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日

平成24年6月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	17,342	13.4	2,750	38.4	2,631	32.0	1,182	64.9
23年9月期第2四半期	15,291	5.3	1,987	△18.7	1,994	△18.8	716	△44.6

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 1,687百万円 (105.6%) 23年9月期第2四半期 820百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	6,612.85	—
23年9月期第2四半期	4,009.41	4,003.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
24年9月期第2四半期	25,480		17,751		15,093	59.2
23年9月期	23,399		16,424		13,961	59.7

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 15,093百万円 23年9月期 13,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	1,600.00	—	1,900.00	3,500.00
24年9月期	—	1,600.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1,900.00	3,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,070	9.5	4,824	0.4	4,795	0.1	2,255	3.9	12,612.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	180,800 株	23年9月期	180,800 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	1,974 株	23年9月期	1,974 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	178,826 株	23年9月期2Q	178,826 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、「添付資料」P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) 生産実績 .....	13
(2) 受注実績 .....	13
(3) 販売実績 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成24年3月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興と復旧、日銀の量的緩和政策等による円高への対処といったプラス要因があるものの、欧州の財政金融不安、米国経済の回復基調等からくる不確定な要因により、依然景気の先行きは、予断を許さない状況にあります。

こうした中で当社が属するCRO（医薬品開発業務受託機関）業界及び連結子会社である株式会社イーピーミントを中心として展開しているSMO（治験施設支援機関）業界は、堅調に成長致しました。株式会社ファーマネットワーク等が展開しているCSO（医薬販売受託機関）業界は、海外からの大手競合の参入もあり、競争が激化しておりますが、市場は堅調に拡大しました。またイトライアル株式会社が展開しております医薬・医療系IT業界につきましては、CRO業界及びSMO業界の成長を追い風に堅調に推移しました。

CRO関連事業につきましては、当社を中心に展開しております。

当社においては、モニタリング業務につきましては、開発段階の試験及び製造販売後臨床試験共に抗がん剤、糖尿病、高血圧、中枢神経治療薬試験を中心に各プロジェクトは順調に推移しており、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。

データマネジメント業務、統計解析業務、メディカルライティング業務、安全性情報業務、登録・進捗管理業務につきましては、既存プロジェクトの遂行、新規プロジェクトの獲得に傾注致しました。登録・進捗管理業務につきましては、新規プロジェクトの受託時期のずれ等により前年同四半期連結累計期間と比較して売上は微減となっておりますが、データマネジメント業務、統計解析業務、安全性情報業務、メディカルライティング業務につきましては堅調に推移しており、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。

以上の結果、当社個別ベースで見ますと、前年同四半期連結累計期間と比較して増収増益となりました。

連結子会社に関しましては、国内では派遣型CRO業務を行う株式会社イーピーメイトは、当社及び製薬会社を中心に事業展開を図ってまいりました。その結果、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりましたが、人材確保のための先行投資的費用が発生したために減益となりました。

ジェネリック向けCRO業務と薬剤分析業務を展開しております株式会社SCGは、受注案件の推進と当社グループとのシナジーを追求しつつ新規受注獲得に傾注致しました。

BPOサービスを展開するEMS株式会社は、受注案件の遂行と中国グループ会社への外注を遂行する体制を整備しております。

海外CRO業務に関しましては、当社のグローバルリサーチカンパニー（事業部）と連携して益新国際医薬科技有限公司を中心に中国その他アジア・パシフィック地域における臨床試験サービスをより実効性のある体制に整備を図り、アジアの受託案件の遂行と新規受託案件の獲得に傾注し、事業拡大を目指してまいりました。

その結果、主な海外CRO業務グループとして上海日新医薬発展有限公司は、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となり、黒字化となりました。またEPSシンガポールについても前年同期と比較して増収増益となり、グループ連携効果が出てきております。

中国ビジネスを推進している益新（中国）有限公司については、中国事業本部と連携して創薬業務、ヘルスケア商材を扱うヘルスケア業務の稼働準備を行っております。また、その子会社である益新健康科技服務（蘇州）有限公司（設立2011年10月、出資比率60%）を設立し、受託体制を整備しております。

非臨床業務を展開しておりますエルエスジー株式会社グループは、既存業務における新規案件の受注獲得に傾注致しました。主要な製品である研究用動物の市場において引続き過剰供給の状況と苦戦しておりますが、計画した出荷が順調に進み、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりましたが、コスト増などにより減益となっております。

その結果、CRO関連事業として連結売上高は 11,342 百万円（前年同四半期連結累計期間比 13.6 %増）となり、連結営業利益は 1,961 百万円（同 27.4 %増）と増収増益となりました。

SMO関連事業につきましては、株式会社イーピーミントグループと全面顧問股份有限公司（台湾台北市）において展開しております。

株式会社イーピーミントは、営業体制及びプロジェクト管理体制の強化により、新規受注の獲得の向上と受託案件の遂行の効率化が図られ、前年同四半期連結累計期間と比較して大幅な増収となりましたが、今後の業容の拡大に資するため、人材確保等の先行投資を行ったことにより減益となりました。一方、台湾においては全面顧問股份有限公司が、当社グループと協業しながら新規案件の獲得に傾注致しました。

その結果、SMO関連事業として連結売上高は 2,919 百万円（前年同四半期連結累計期間比 28.0 %増）と大幅な増収となりましたが、連結営業利益は 357 百万円（同 17.0 %減）と減益となりました。

CSO関連事業につきましては、株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインにおいて展開しております。

株式会社ファーマネットワークは引続き受注体制の整備を行いつつ、受注案件の確実な遂行と、新規案件の獲得に傾注し、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となり、MRの採用費が下期になったために大幅な増益となりました。

また株式会社メディカルラインは、医薬・医療・ヘルスケアの業界向けD I（医薬品情報管理）業務とヘルスケアサービス業務を中心に新規受注獲得に傾注し、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。

その結果、CSO関連事業として連結売上高は 3,077 百万円（前年同四半期連結累計期間比 25.8 %増）と増収となり、連結営業利益は 413 百万円（同 1655.3 %増）と大幅な増益となりました。

医薬・医療系 I T関連事業につきましては、主にイートリアル株式会社において展開しております。

イートリアル株式会社は、EDC（Electronic Data Capturingの略で、インターネットを利用した臨床試験に関わる電子情報収集システム）を中心に新規案件の受注獲得を推進し、前年同四半期連結累計期間と比較し増収となりましたが、人件費等の増加により減益となっております。

往來軟件（北京）有限公司は、医薬・医療系 I Tサービスに事業転換を図りつつ、経費削減をしております。尚、当関連事業において、主力でありましたオーライソフトウェア株式会社及び青島恒遠天地軟件技術有限公司は、前年第3四半期において事業再編を行い、当社グループ外と致しました。

その結果、医薬・医療系 I T関連事業として連結売上高 265 百万円（前年同四半期連結累計期間比 66.5 %減）と大幅な減収となりましたが、連結営業利益は 7 百万円（前年同四半期連結営業損失 8 百万円）と黒字化となりました。

上記のセグメント毎の連結売上高及び連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載しておりますのでそれを控除した結果、当連結売上高は 17,342 百万円（前年同四半期連結累計期間比 13.4 %増）と増収となり、連結営業利益は 2,750 百万円（同 38.4 %増）、連結経常利益は 2,631 百万円（同 32.0 %増）、連結四半期純利益は 1,182 百万円（同 64.9 %増）と大幅な増益となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末における総資産は、25,480 百万円と前連結会年度末から 2,081 百万円増加致しました。

流動資産では、主に現金及び預金が 956 百万円、仕掛品が 132 百万円、その他の流動資産が 279 百万円それぞれ増加したことなどにより 1,313 百万円増加して 19,191 百万円となりました。固定資産では、主として有形固定資産が 525 百万円、のれんが 160 百万円、投資有価証券が 98 百万円それぞれ増加したことなどにより、767 百万円増加して 6,289 百万円となりました。

負債の部においては、その他の流動負債が 882 百万円増加した一方で、買掛金が 54 百万円、賞与引当が 67 百万円減少したことなどにより、当四半期末における負債合計は 7,729 百万円と 754 百万円増加致しました。

純資産の部では、主に利益剰余金が 842 百万円、為替換算調整勘定が 234 百万円、少数株主持分が 194 百万円増加したことなどにより、当四半期末における純資産の部は 1,326 百万円増加して 17,751 百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が 2,636 百万円となり、その他の流動負債の増加が 794 百万円あった一方で、法人税等の支払による支出が 1,305 百万円あったことなどにより 2,079 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は 680 百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に定期預金の預入による支出が 495 百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出を 543 百万円それぞれ行ったことなどの結果、1,034 百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比 428 百万円増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に短期借入金の実行で 1,198 百万円の収入があった一方で、長期及び短期借入金の返済を 1,547 百万円、株主及び少数株主に対する配当金の支払を 387 百万円行ったことなどにより、719 百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は 245 百万円の収入）となりました。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は 9,100 百万円（前年同四半期連結累計期間比 2,323 百万円増加）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災の復興・復旧の投資の本格化、日銀の金融緩和策等がプラス要因となるものの欧州の財政金融不安や米国景気の回復基調等の不安定要因から依然景気の先行きは、予断の許さない状況が続くと予想されます。

CRO関連事業について当社は、モニタリング等の臨床開発を行う臨床開発本部、データマネジメント、製造販売後調査等のデータセンター、統計解析、登録・進捗管理、メディカルライティング、安全性情報サービス等の業務を行う臨床情報本部の両本部を中心に、新規事業にかかる企画立案・サービス、医療機器関係の臨床開発を行う臨床研究推進センターと共に、営業本部との連携を強化して新規受託の獲得を推進してまいります。また将来の受注体制の拡大を見据えて、下期に人財確保等の先行費用を見込んでおります。

海外の臨床試験の受注活動を推進するグローバルリサーチカンパニーは、国際臨床開発を受託するグループ会社と連携して受託体制の整備と新規案件の受注獲得に邁進してまいります。

中国ビジネスの拡大を図る中国事業本部は、中国にあるグループ会社との連携を図りオフショア案件サービスのBPOの拡大、ヘルスケア商品の販売、創薬業務の推進を図ってまいります。

連結子会社に関しまして、国内では派遣型CRO業務を行う株式会社イーピーメイトは、当社及び製薬会社を中心に事業展開を図ってまいります。

ジェネリック向けCRO業務と薬剤分析業務を中心に展開しております株式会社SCGは、受注案件の推進と当社グループとのシナジーを追求しつつ新規受注獲得に傾注してまいります。

BPOサービスを展開するEMS株式会社は、受注案件の遂行と中国グループ会社への外注を遂行する体制を整備してまいります。

海外事業に関しては、当社のグローバルリサーチカンパニー（事業部）と連携して益新国際医薬科技有限公司を中心に中国その他アジア・パシフィック地域における臨床試験サービスをより実効性のある体制に整備を図り、アジアの受託案件の遂行と新規受注案件の獲得に傾注し、事業拡大を目指してまいります。

中国ビジネスを推進している益新（中国）有限公司については、中国事業本部と連携して創薬業務、ヘルスケア商材を扱うヘルスケア業務の稼働準備を行っております。またその子会社である益新健康科技服務（蘇州）有限公司は、同事業本部と連携してデータマネジメント業務のBPO業務サービスの稼働を図ってまいります。

非臨床業務を展開しておりますエルエスジー株式会社グループは、既存業務における新規案件の受注獲得に傾注すると共に、成長性のある分野の新サービスの展開を検討してまいります。

SMO関連事業を展開しております株式会社イーピーメントは、平成24年4月1日に子会社の株式会社エスメディサを吸収合併し、引続き受注体制及びプロジェクト管理の強化を図ってまいります。そのため、下期に人財確保等の先行費用の増加を見込んでおります。また、台湾においてSMO関連事業を展開しております全面顧問股份有限公司は、当社グループと協業しながら新規案件を獲得してまいります。

C/SO関連事業を展開しております株式会社ファーマネットワークは、下期に一部纏まった規模の受注案件が終了することと、MR採用に係る先行費用が見込まれるため、引続き受託体制の整備を進めながら新規案件の獲得に傾注してまいります。また医薬・医療・ヘルスケアの業界向けD I（医薬品情報管理）業務とヘルスケアサービス業務を展開しております株式会社メディカルラインは、新規受注獲得に傾注してまいります。

医薬・医療系IT関連事業においては、イートライアル株式会社がEDC関連サービスを主要業務として製薬会社及び医療研究施設から新規案件の受注獲得を推進してまいります。また、新たな医薬・医療系IT関連サービスを模索しております。加えて、中国においては、往来軟件（北京）有限公司が、医薬・医療向けITサービスへの事業転換を図り、新規案件の受注獲得を推進してまいります。

これらにより平成24年9月期通期の連結業績見通しは、平成23年11月7日に発表しました予想数値を変更致しません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 【追加情報】

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,639,979	9,596,709
受取手形及び売掛金	6,968,466	6,922,939
商品及び製品	379,976	370,308
仕掛品	467,760	600,383
その他	1,425,294	1,705,103
貸倒引当金	△3,998	△4,231
流動資産合計	17,877,479	19,191,212
固定資産		
有形固定資産	1,432,529	1,958,391
無形固定資産		
のれん	553,851	714,838
その他	307,174	315,714
無形固定資産合計	861,025	1,030,552
投資その他の資産		
投資有価証券	459,200	557,995
敷金及び保証金	1,266,543	1,242,275
その他	1,502,735	1,500,523
投資その他の資産合計	3,228,479	3,300,795
固定資産合計	5,522,035	6,289,739
資産合計	23,399,514	25,480,952
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,066	231,678
短期借入金	15,000	51,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,331,746	1,316,011
賞与引当金	965,596	897,978
受注損失引当金	112,700	104,000
その他	2,247,035	3,129,937
流動負債合計	5,058,144	5,830,605
固定負債		
長期借入金	900,000	850,000
退職給付引当金	418,490	457,563
役員退職慰労引当金	267,753	224,258
資産除去債務	245,232	272,571
その他	85,553	94,732
固定負債合計	1,917,030	1,899,126
負債合計	6,975,174	7,729,731



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,251	1,875,251
資本剰余金	1,826,300	1,826,300
利益剰余金	10,820,222	11,663,002
自己株式	△317,258	△317,258
株主資本合計	14,204,516	15,047,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62,593	△7,892
為替換算調整勘定	△180,589	53,957
その他の包括利益累計額合計	△243,183	46,064
少数株主持分	2,463,006	2,657,859
純資産合計	16,424,339	17,751,221
負債純資産合計	23,399,514	25,480,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	15,291,843	17,342,947
売上原価	10,548,207	11,295,534
売上総利益	4,743,635	6,047,412
販売費及び一般管理費	2,755,766	3,296,522
営業利益	1,987,868	2,750,890
営業外収益		
受取利息	4,141	4,179
保険解約益	10,001	12,512
その他	25,527	15,863
営業外収益合計	39,671	32,556
営業外費用		
支払利息	3,459	13,468
為替差損	22,818	118,839
その他	6,938	19,584
営業外費用合計	33,216	151,892
経常利益	1,994,323	2,631,554
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,171
補助金収入	—	62,845
保険解約返戻金	13,611	—
その他	3,100	—
特別利益合計	16,712	69,016
特別損失		
固定資産除売却損	29,615	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	125,400	—
システム開発中止に伴う損失	—	61,413
その他	11,272	2,951
特別損失合計	166,288	64,364
税金等調整前四半期純利益	1,844,747	2,636,206
法人税、住民税及び事業税	634,451	1,295,992
法人税等調整額	392,802	△49,112
法人税等合計	1,027,254	1,246,880
少数株主損益調整前四半期純利益	817,493	1,389,326
少数株主利益	100,506	206,776
四半期純利益	716,986	1,182,549

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	817,493	1,389,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,938	54,700
為替換算調整勘定	28,765	236,411
持分法適用会社に対する持分相当額	5,277	6,876
その他の包括利益合計	3,105	297,988
四半期包括利益	820,598	1,687,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	717,434	1,471,798
少数株主に係る四半期包括利益	103,164	215,516

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,844,747	2,636,206
減価償却費	127,745	141,240
のれん償却額	87,738	101,185
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△627,898	△72,028
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24,487	39,072
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△23,576	△43,495
受取利息及び受取配当金	△5,491	△5,529
支払利息	3,459	13,468
固定資産除売却損益 (△は益)	29,615	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△598,536	116,614
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108,601	△151,543
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,682	△53,727
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△319,022	794,820
その他	184,297	△122,632
小計	629,646	3,393,653
利息及び配当金の受取額	6,599	5,486
利息の支払額	△3,459	△14,480
法人税等の支払額	△1,313,374	△1,305,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	△680,589	2,079,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,483	△495,791
定期預金の払戻による収入	150,858	12,610
有形固定資産の取得による支出	△361,690	△504,644
無形固定資産の取得による支出	△5,291	△38,654
敷金及び保証金の差入による支出	△41,738	△31,500
出資金の払込による支出	△100,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△126,817	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	29,309
その他	△108,781	△6,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605,943	△1,034,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,015,000	1,198,000
短期借入金の返済による支出	△1,385,000	△1,497,221
長期借入金の返済による支出	△38,100	△50,000
少数株主からの払込みによる収入	1,000	26,900
配当金の支払額	△339,366	△339,337
少数株主への配当金の支払額	△24,104	△47,977
その他	15,796	△9,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	245,225	△719,172

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,883	146,951
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,029,423	472,534
現金及び現金同等物の期首残高	7,805,981	8,627,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,776,557	9,100,279

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至平成23年3月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額（注） （千円）	四半期連結 損益計算書 計上額 （千円）
	CRO関連 事業（千円）	SMO関連 事業（千円）	CSO関連 事業（千円）	IT関連 事業（千円）	計 （千円）		
売上高							
外部顧客への 売上高	9,968,150	2,279,810	2,442,502	601,379	15,291,843	—	15,291,843
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,404	1,061	3,466	190,245	213,178	(213,178)	—
計	9,986,555	2,280,872	2,445,969	791,625	15,505,021	(213,178)	15,291,843
セグメント利益	1,539,333	430,397	23,557	(8,454)	1,984,833	3,035	1,987,868

(注) セグメント利益の調整額 3,035 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至平成24年3月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額（注） （千円）	四半期連結 損益計算書 計上額 （千円）
	CRO関連 事業（千円）	SMO関連 事業（千円）	CSO関連 事業（千円）	IT関連 事業（千円）	計 （千円）		
売上高							
外部顧客への 売上高	11,295,044	2,918,094	3,062,464	67,344	17,342,947	—	17,342,947
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	47,695	1,325	15,248	197,752	262,021	(262,021)	—
計	11,342,740	2,919,419	3,077,712	265,096	17,604,968	(262,021)	17,342,947
セグメント利益	1,961,547	357,379	413,517	7,784	2,740,228	10,661	2,750,890

(注) セグメント利益の調整額 10,661 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日) (千円)	前年同期比(%)
CRO関連事業		
モニタリング業務	5,678,840	120.9
データマネジメント業務	4,347,240	109.2
CROその他業務	1,497,437	116.9
CRO関連事業計	11,523,518	115.7
SMO関連事業	2,915,574	128.0
CSO関連事業	3,058,120	125.3
IT関連事業	74,361	10.5
合計	17,571,574	114.2

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。  
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
CRO関連事業				
モニタリング業務	6,233,259	233.1	17,711,366	221.6
データマネジメント業務	4,194,598	147.3	13,647,113	104.5
CROその他業務	1,443,238	84.5	1,036,824	96.1
CRO関連事業計	11,871,096	164.2	32,395,305	146.4
SMO関連事業	4,106,001	140.9	7,775,613	143.2
CSO関連事業	2,497,188	78.9	3,666,388	85.8
IT関連事業	281,106	30.1	369,666	48.3
合計	18,755,393	131.7	44,206,974	135.6

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。  
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日) (千円)	前年同期比(%)
CRO関連事業		
モニタリング業務	5,640,931	119.9
データマネジメント業務	4,170,415	104.8
CROその他業務	1,483,696	115.4
CRO関連事業計	11,295,044	113.3
SMO関連事業	2,918,094	128.0
CSO関連事業	3,062,464	125.4
IT関連事業	67,344	11.2
合計	17,342,947	113.4

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。